

学校における教職員の働き方改革について

学校における教職員の働き方改革について

明日香村では、幼小中一貫教育の取組に重点を置き「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心と体」の3つを備えた子どもの育成を目標としています。

昨今、教職員の多忙化が社会問題となっている中、教職員が子ども一人一人としっかりと向き合う時間を創出するため、以下の取組を行い、校務の効率化、働きやすい職場づくりを行っています。

明日香村教育委員会として働き方改革に取り組んでいる事業について

統合型校務支援システムの導入

統合型校務支援システムを導入することにより、情報管理の一元化、入力作業の簡略化など校務の効率化に取り組んでいます。

また、システムを活用した教職員の出退勤管理も行っており、教職員が自身の時間外在校等時間数を把握し、働き方の現状、推移を再確認することにより、意識改革へとつなげています。

少人数学級編成

1学年2クラスを堅持することにより、学習や生活の場面において、一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導を可能とするとともに、教職員の業務量削減に取り組んでいます。

特別支援員の配置

授業中に学習について困り感をもつ子どもの支援を行うなど、学校生活における個別指導対応を行う特別支援員を配置し、教職員の業務量削減に取り組んでいます。

教育業務支援員の配置

教職員が行っている業務のうち、学習プリント等の印刷・配付準備、授業準備の補助、採点業務の補助、学校行事の準備及び後片付けの補助など行う教育業務支援員を配置し、教職員の業務量削減に取り組んでいます。

通級指導教室の設置

通常の学級に在籍している子どものうち、障害の特性に応じた支援が必要な子どもについて、大部分の授業を通常の学級で受けながら、特別指導を通級指導教室で受ける指導形態で、子どもの自立活動を目指し、障害による困難を改善・克服するため、一人一人の状況に応じた指導に取り組んでいます。

学校閉庁日の導入

夏季休業中に学校閉庁日をすべての学校園で実施することにより、教職員の年次有給休暇の取得を推進しています。

保護者・地域の皆様方には、取組へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。